

議会だより

平成24年9月議会は、平成23年度の決算を審議する議会で9月5日から10月4日にかけて行われました。

平成23年度は、3月に発生した東日本大震災後、地域経済の見通しが先行き不透明となる厳しい状況でありましたが、一般会計決算は、歳入は5,229億9,900万円、歳出は、5,186億200万円となり、前年度に比べ、歳入・歳出とも減となりましたが、市税収入は1,597億9,200万円で、前年度より22億400万円の増となり、4年振りの増収となりました。また、減少傾向にあった市税の収入率も4年振りに向上しています。

今議会、私は会派を代表して質疑を行いました。一般質問とは違い決算にからむできるだけ全体的な質問ということで、質問の項目は以下の通りです。

- ・平成23年度一般会計決算について
- ・保育士不足対策について
- ・保育所入所要件の見直しについて
- ・認知症対策について

本市において、介護保険からみる認知症の症状がある方の中徘徊等が心配される方の数と、今後探索につながる機器の利用促進に向けた周知、認知症サポーターの方々と連携した更なる取り組みの拡充について尋ねました。

答弁では本市の65歳以上の高齢者の中、何らかの認知症の症状がみられる方が全体で約3万人おられるとみられ、その中で徘徊など外出行動に問題のある方が約1000人、3%程度おられるとのこと。今後、ケアマネジャー等関係者のみなさんに周知を図っていくことと、認知症サポーターのみなさんの中で同意をいただいた方に対して、徘徊高齢者がでた場合に、そのときの情報を携帯電話や端末にメールで送って発見にご協力いただく、こういった仕組みを現在準備しており年内には試験的に運用を始めたい。また、この9月に「認知症に関する意識及び実態調査」を実施しておりその中で徘徊行動についても調査することにしてその結果等をもとに、徘徊高齢者対策をより充実させていきたいとのことでした。

- ・発達障害児者支援について
- ・難病支援について
- ・防災対策について（雷・竜巻対策も）
- ・学力の向上について
- ・北九州市市税条例の一部改正について
 グリーンアジア国際戦略総合特区に関する税制上の特例措置（固定資産税軽減）の創設に至った考え方についてと、この特例措置の企業への周知について
- ・北九州市環境ミュージアムについて
- ・北九州市響灘ビオトープについて
- ・自転車共同利用支援事業について（シティサイクル）



市長質疑

● 保育コンシェルジュの導入について

保育コンシェルジュは横浜市で現在導入されており、通常の市の窓口と違って、保育所や家庭保育所だけでなく、幼稚園他市のすべての保育資源を市がしっかりと情報収集し、働く親だけでなくすべての保護者がいるんな事情を相談しながら通園可能な施設を選ぶお手伝いをする仕事です。すぐに希望する保育所に入れない時などのフォローをしたりもします。質問に対して市長は横浜市の保育コンシェルジュの事例も参考にしながら、コーディネート機能の更なる充実に努めたいとの答弁でした。

● 議員定数削減を議長に申し入れ

私たちの会派「ハートフル北九州」は議会中の9月13日に佐々木市議会議長に対し「議員定数等議会改革についての申し入れ」を行いました。

「北九州市議会の議員定数は現状より削減すること」とし、議員定数だけでなく更なる議会改革を市議会で主体的に議論して結論を得るため各会派による検討協議会を速やかに設置、合意を得たものから実施に移すことを求めたものです。結果9月28日議長や各会派代表が協議し、「議会改革協議会」を立ち上げる事を決め、以下の5項目について協議することとなりました。

- ① 議員定数②議員報酬③交通費などの費用弁償④政務調査費⑤海外視察です。

議員定数については今議会で「財政効率化」を目的として11名削減という数を限定した直接請求がなされましたが、議会改革を総合的に議論し実行するべきと否決、協議会での議論を進めることとなりました。

● 若松市民会館の喫茶店部分の有効活用を要望中

お店が閉まってからずいぶん長く使用されていない、若松市民会館2階の旧喫茶部分が現在物置状態となっており、以前若松にあったギャラリーが現在なくなった為、そこもぜひ有効活用するよう担当部署に強く要望しています。



早いもので4年間の任期もあと残り約3ヶ月となりました。この間、この仕事は夜や土曜日曜の予定がたくさん入りますので、小さな子どもをいつも実家に預けて出かける事に、かなり葛藤を覚えながらの4年間でした。それでもまわりの方々のご理解とご協力で仕事と子育ての両立がなんとかできてきましたことに深く感謝するしだいです。ただ議会での質問は子どもを持たせてもらったからこそできた質問も多く、それまで気付かなかったこともたくさん気づかせていただきました。

加えて今期は子育て関連の質問だけでなく、海外水ビジネス、上下水道局の新設や新たな特別支援学校について質問提案し実現するなど、多方面で取り組みをすることができました。期を重ねるごとに、またいろいろと知れば知るほど課題も多く今後更に少子高齢化が進む中、できるだけ本市が「人にやさしく元気な自立した都市」になれるよう新しい提案をこれからもできるだけ行って参りたいと思います。また来年の新たな挑戦も逆風の中ではありますが、とにかく全力で頑張っ参ります。皆様の変わらぬご指導ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

